

「ずっとお金を払い続ける車販屋発想の仕組みではなく独自の仕組みをつくり上げました」

世界一ノッポの落語家、林家木りんさんは、落語だけでなくテレビのリポーターなど様々な分野で大旋風を巻き起こしている新進気鋭の落語家です。その木りんさんとアフターカーケア業界の風雲児、カーコンビニ倶楽部の林成治社長の世代を超えた激熱対談の第2弾。どんな話が飛び出すのでしょうか。



落語家 林家木りん Kirin Hayashiya

1989年生まれ。東京都文京区出身で浅草育ちの落語家で、落語協会所属の二ツ目。大相撲元大関で7代目伊勢ヶ濱親方の清國勝雄の二男。2009年に林家木久扇に入門。2013年に二ツ目昇進。落語だけでなく、モデルやテレビのレポーターとしても活躍中。今注目の若手落語家です。

林…木りんさんは新しい落語のマーケットをつくっています。古典と言われる落語ですが、落語が生まれた頃はリアルタイムの出来事が話のネタになっていました。江戸時代に室町時代の話をしていたわけじゃない。木りん…新作落語なら、話のネタに盛り込みたいのは「もろコミ」ですね。実際、あの仕組みにはびっくりしました。林…カーリースとカーシェアが時代のトレンドになっていきますからね。一方で、カーシェアでクルマを借りると、自分のクルマが欲しくなる人が約8割もいるそうです。木りん…カーリースもカーシ

※「愛車人」ではクルマを愛する人を「クルマニスト」と称します

アも「手軽さ」がキーワードになってきていると思います。すぐに入りやすいんです。クルマ持つと車検や税金などでめっちゃくちや経費がかかるというイメージがあります。それが月々1万円弱ですべてコミコミですから、まさにお手軽です。林…最初にハードルをどれだけ下げたかですね。ほとんどのクルマ屋さんには、残価設定を設けて、3年か5年でクルマを返して、また新しいクルマにする仕組みで、ずっとお金を払い続け

るようになっていく。これは車販屋発想の仕組みなんですね。カーコンは7年か9年でリースが終了すればクルマは自分のものになるという、独自の仕組みをつくり出したわけですね。木りん…そこがすごいですね。自分のものになるなら少々キズ付けても気にしなくてすむ。ユーザーにやさしいカーリースだと思えます。僕も檀蜜さんたちの「もろコミ」のCMを見て、「そんな仕組みがあるんだ！」って、驚きましたもん。

林…実は、カーコンのCMに出ているタレントさんたちは、色々な事情を抱えながらうちのCMに出てからはみんなスターになっているんです。例えば、渡辺直美さん、檀蜜さん、アンタツチャプルの柴田英嗣さんとかね。木りん…すごいですね。カーコンのCMに出ると幸運の女神が舞い降りる。林…渡辺直美さんなんかは、うちのCMに出るまでは無名でどこも使っていませんでした。当時、周りからは反対されましたよ。だけど、まあ、見てなよ、この娘は絶対に売れるからと。木りん…ホントにその通りになりましたよね。売れていないうちにカーコンのCMに出た方がいい(笑)。

木りん…すごいジंकクスですね。僕もゴルフを始めたいんですよ。今年は、自動車免許の取得とゴルフの上達が課題です。林…落語界一のノッポだからドライバーは相当飛びそうだね。ところで、木りんさんは、自転車に乗ることはあるんですか。木りん…もちろんです。年末に東京FMで夜中の2時に出演するラジオ番組があって、自転車

で行きました。そしたら、御茶ノ水辺りの坂道がすごくてまいりました。電動自転車だったらなあと思いましたが。林…(笑)カーコンの電動アシスト自転車はものすごくラクですよ。木りん…いいっすよね。めっちゃ欲しいですもん(笑)。林…スマホの充電器も付いていますからね。木りん…ポケモンGOとかドラクエで移動しながら遊ぶのがあ

るんですが、これってめちゃくちゃ電池を喰うんです。充電器が付いていると便利で助かります。林…ふうん、そんな使い方もあるんですね。木りん…GPSを使ってクリアして行くので、すぐに電池がなくなっちゃうんです。そんな時に、自転車に充電器が付いているのはめちゃくちゃ便利だと思います。

林…ボランティア活動をしている方たちが物資を常に用意してないと、すぐに現地に駆けつけることができません。加えて、その資金をボランティア任せにしていたら、ヘタすれば破産してしまうボランティアの人たちも出てきますからね。木りん…ボランティアのボランティア活動をしていらっしやるというのは衝撃的です。ほとんどの日本人はそんな意識を持っていないでしょうね。私も「風に立つライオン基金」のお手伝いが何かできればと思います。



カーコンビニ倶楽部 代表取締役社長 林 成治 Seiji Hayashi

林…実は、この電動アシスト自転車の、シンガーソングライターのさだまさしさんが立ち上げた「風に立つライオン基金」の寄付金集めのために、カーコンの加盟店で販売していただいているんです。この基金は、災害があった時に復興を手伝っているボランティアを応援する基金

「ボランティアのボランティア活動は衝撃的。私も『風に立つライオン基金』のお手伝いをしたい！」(林家木りん)

「新作落語なら『もろコミ』を

ネタに盛り込みたい！」